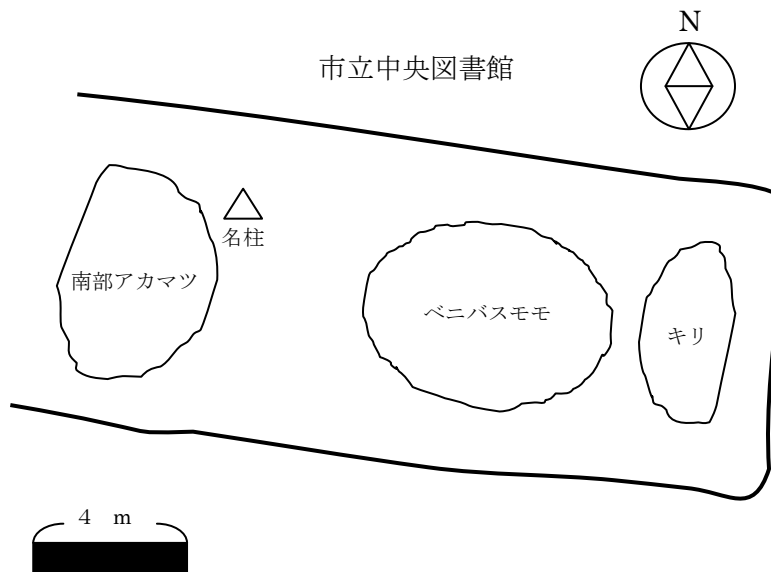


岩手県の森

岩手県は東北地方の太平洋側に位置します。その広さは北海道に次ぐ日本で二番目の面積で、国土の約4%を占めます。岩手県の森は、県の木・南部アカマツやベニバスモモ、県の花・キリを配植し、地域色豊かな森になっています。



県の花 キリ (ゴマ/ハグサ科)

5月の薫風に甘い香りを漂わせ、山里の春を飾ります。木材としても「南部の紫桐」として知られています。



県の木 南部アカマツ (マツ科)

県内のいたるところに生息している本県産の代表樹種です。油脂分が多いため、磨けば磨くほど優雅な光沢を出し、純和風高級材として質・量ともに日本一を誇っています。



ベニバスモモ (バラ科)

3~4月頃、桜に似た淡紅色の花を咲かせます。特徴的な葉は、新緑の頃から紅紫色で、秋にはさらに色濃くなります。